

4 本時の目標 (11/14)

- ・進んで遊びに参加することができる。
- ・色々な遊び方に気付いて遊ぶことができる。

1 単元名 「秋を楽しもう」

2 単元について

そこで、本単元では、秋の行事や遊び方を知り活動する中で「やってみたい」という気持ちをもったり、仲間と一緒に活動する場面を設けることで仲間の様子に目を向け自分の活動を広げたりできるようにする。

3 単元指導計画 (別紙)

6 本時の展開

活動	活動内容	・全体への支援		
1 あいさつ 2 活動内容や約束を確認	○本時の活動内容を確認する。 ○自分のめあてを決める。	・前時の児童が作ったさつまいもスタンプを提示し、これまでの活動を振り返る。 ・本時は作ったさつまいもスタンプを使って遊ぶことを確認する。 さつまいもスタンプであそぼう。 ・「じぶんで」「いっしょに」から本時のめあてを選ぶよう促す。	・どんな遊び方ができそうかを一緒に確認し活動に興味をもてるようにする。 ・最後にめあてを決めるように促すことで、何をするか理解することができるようにする。	・「〇〇さんは、～なスタンプを作ったね。」と仲間のスタンプを紹介し、使ってみたいという気持ちをもてるようにする。
3 本時の活動	○約束を確認する。 ○自分のやりたいスタンプを選んで遊ぶ。 ○手洗い・片付け	・本単元の約束を確認する。 ① 「かして。」「いいよ。」を使う ② 「おしまい。」でおわる ・活動に興味をもてるように、教師が見本を見せる。 ・仲間を意識できるように「〇〇さん、こんな遊び方しているね。」等の言葉をかける。 ・最後まで楽しく遊べるように、様子を見て違う色の絵の具やスタンプを追加していく。	・教師も一緒に活動し「星の形だね。」や「赤色だね。」等の言葉かけをし、活動に参加できていることに気付かせる。 ・自分から遊んでいる姿に「自分で遊んでいるね。」と価値付ける。	・仲間の遊び方を紹介し、やりたい遊びを広げられるようにする。 ・仲間の活動に興味を示している姿を見かけたら、『「かして。」って言いに行こう。』と言葉をかけ、使いたいものを一緒に借りに行く。
4 活動の振り返り 5 あいさつ	○振り返りをする。	・本時のめあてと関連させて振り返りを行うことで、何を頑張ったのかを明確にしながらかい付けができるようにする。	・自分が頑張ったことを聞く場を設ける。 ・めあてを意識して活動できたことを価値付ける。	・めあてと関連付けて振り返りを行うとともに仲間の遊びを見ていた姿や、真似できた姿を価値付ける。

小学部2年「秋を楽しもう」単元指導計画（全14時間）

1. 単元の評価

- ・秋の木の実や落ち葉を触って自然に触れることができる。また、それを使っておもちゃを作って遊ぶことができる。(知・技)
- ・友達の活動を見て、自分もやってみたいという気持ちを持ち、真似しようとするすることができる。
(思・判・表)
- ・進んで活動に参加することができる。(主)

2. 単元にかかわる個別学習

国語	聞くこと・話すこと
算数	数を数える（どんぐり、松ぼっくり、さつまいも）
自立活動	手指訓練（クリップ・モール・毛糸をつける）コミュニケーション

3. 指導計画

時	課題	活動内容	各教科・領域との関わり	準備など
1	・どんなことをするのか知ろう。(オリエンテーション)	・プレゼンを見て、活動の見通しをもつ。 ・秋はどんな季節か知る。	・聞くこと・話すこと (国語)	・プレゼン ・カレンダー
2 3 4	・秋のものをつくろう。	・秋の生き物（トンボ）落ち葉、松ぼっくりの木、サツマイモをつくる。 ・作ったものを教室に飾る。	・生命の尊さ（道徳） ・身体の動き (自立活動)	・どんぐり・モール ・落ち葉やトンボの写真 ・松ぼっくり ・サツマイモの写真
5	・遊びの準備をしよう。	・魚釣り遊びに必要な道具（釣竿）を作る。 ・葉っぱや松ぼっくりにクリップやモールをつけ、魚の代わりにする。	・表現（図工） ・身体の動き (自立活動)	・ひも・磁石 ・棒（紙）・クリップ ・モール
6	・落ち葉や松ぼっくりで遊ぼう。	・自分の釣り竿で落ち葉の魚を釣って遊ぶ。 ・釣った魚の数を数える。	・数と計算（算数） ・遊び（生活）	・釣り竿・落ち葉（魚） ・松ぼっくり ・大きいダンボール
7	・遊びの準備をしよう。	・的になるイラストに色を塗る。 ・箱にイラスト貼る。	・表現（図工） ・身体の動き（自立活動）	・イラスト ・クレヨン
8	・松ぼっくりであそぼう。	・みんなで作った的当てを使って遊ぶ。	・遊び（生活）	・的・松ぼっくり ・ダンボール
9	・さつまいもほりをしよう。	・さつまいもについて知る。 ・みんなでさつまいもをほる。	・数と計算（算数） ・聞くこと・話すこと (国語)	・さつまいも ・布
10	・さつまいもスタンプをつくらう。	・さつまいもを型抜きし、さつまいもスタンプをつくる。	・聞くこと・話すこと (国語) ・身体の動き (自立活動)	・さつまいも ・型抜き
11 本時	・さつまいもスタンプで遊ぼう。	・作ったさつまいもスタンプを使って遊ぶ。	・遊び（生活）	・さつまいもスタンプ ・絵具・模造紙
12	・秋の木を作ろう。	・前時作ったスタンプを貼って、秋の木を完成させる。	・数と計算（算数） ・聞くこと・話すこと (国語)	・前時の模造紙 ・木のイラスト
13	・秋祭りをしよう。	・今までに作ったもので遊ぶ。	・遊び（生活）	・今までに作ったもの
14	・活動を振り返ろう。	・写真を見て活動を振り返る。 ・楽しかったことを話す。	・友情、信頼（道徳） ・聞くこと・話すこと (国語)	・活動の写真

4. 単元中のこどもの姿（単元終了後に記入）

小学部2年 「秋を楽しもう」

単元の評価

- ・秋の木の実や落ち葉を触って自然に触れることができる。また、それを使っておもちゃを作って遊ぶことができる。(知・技)
- ・友達の活動を見て、自分もやってみたいという気持ちを持ち、真似しようとするすることができる。(思・判・表)
- ・進んで活動に参加することができる。(主)

本単元における児童生徒の実態と目標

自然を感じて遊ぶことができる。(知技)					
仲間との関わりの中で、やりたいものを選ぶことができる。(思・判・表)					
進んで活動に参加することができる。(主)					
本単元の目標	秋のものを使って、先生と一緒に遊ぼうとすることができる。(主)	仲間の活動に興味をもって一緒に遊ぼうとすることができる。(思・判・表)	やりたいものを選んで、「かして。」「かわって。」など自分の気持ちを伝えることができる。(思・判・表)	やりたいものを選んで、「かして。」「かわって。」など自分の気持ちを伝えることができる。(思・判・表)	仲間の遊び方を見て、「かして。」など気持ちを伝え、自分の遊びを広げることができる。(思・判・表)

小学部 3 年 生活単元学習 学習指導案

- 1 単元名 「作って食べよう」
- 2 単元について

そのため、本単元でも実際に試食することで、見通しをもったり、作りたい物を自分で選んだりできるようにすることで、活動への意欲を高められるようにした。

また、とろとろデザートでの「混ぜる」活動を通して、蒸しケーキでの「混ぜる」活動へ繋げられるようにした。

3 単元指導計画（別紙）

6 本時の展開

活動	活動内容	・全体への支援		
1 あいさつ 2 活動内容や約束を確認	○本時の活動内容を確認する。	・作る物や種類の確認するために、とろとろデザートの箱を提示する。		
3 本時の活動	○エプロン、三角巾を付ける。 ○手洗いをする。 ○作りたい物を決める手順を確認する。 ○3種類（イチゴ、ブルーベリー、ミックスオレンジ）を実際に試食して、作りたいものを考える。 ○食べたい味を決定する。	食べたい味を決めよう。 ・実物と箱を提示することで、興味をもてるようにする。 ・作り方が分かるように実物で教師が実演して1種類作る。 ・食べてみたい味を尋ねる。 ・少量を試食することで、もっと食べてみたいと実感しやすいようにする。 ・3種類の写真を貼って、何を選択したか分かりやすいようにする。	・「一番笑顔になった味はどれか教えてね。」や「友達は何を選んだか後で教えてね。」と事前に伝えておくことで、意識できるようにする。 ・友達が選んだら、笑顔になっていたか尋ねる。	・試食する順を後の方にするすることで、見通しがもてるようにする。 ・食べた時の表情や、箱や実物を提示した時に手を差し伸べようとしている物をよく観察して、教師と一緒に決定する。
4 活動の振り返り 5 あいさつ	○振り返りをする。	・試食して、選べた様子を具体的に価値付ける。	・食べたい味を決められたり、最後に友達が何を選んだか発表する場を設け、答えようとしていたら、大いに価値付け、今後の意欲を高められるようにする。	・笑顔や「もっと。」と要求した姿など、思いを表出できたことを価値付ける。

4 本時の目標 (3/13)

- ・試食することを通して、食べたい味を決定することができる。

5 対象児童について

	A	B
児童の実態		
単元の目標	仲間と協力しながら、役割を果たすことができる。	食べたい味を教師と一緒に選び、作ることができる。
本時の目標	仲間の食べたい味と比べながら、自分の食べたい味を選ぶことができる。(思・判・表)	興味関心をもって取り組み、教師と一緒に食べたい味を選ぶことができる。(知・技)

小学部3年「作って食べよう」単元指導計画（全13時間）

1. 単元の評価

- ・エプロンやマスクを正しく着用し、安全に作ることができる。
材料を混ぜたり、適当な量を入れたりすることができる。（知・技）
- ・繰り返し試食したり、作ったりすることを通して、作りたい物を考えることができる。（思・判・表）
- ・仲間と一緒に作ることを通して、役割を果たそうとすることができる。（主）

2. 単元にかかわる個別学習

国語	話す聞く（作り方の確認）
算数	数を数える（計量、電子レンジ）
自立活動	自己理解（好きな材料を選ぶ） 手指訓練（エプロンを着る、調理実習）

3. 指導計画

時	課題	活動内容	各教科・領域との関わり	準備など
1	どんなことをするのか知ろう。	・活動の見通しをもつ。 ・エプロンの着方を確認する。 ・エプロンを着て、脱いでみる。	・学級活動（特別活動）	・プレゼン ・エプロン、三角巾 ・マスク
2	エプロンを着て、手を洗おう。	・エプロンを自分で出して着る。 ・手洗いの仕方を確認する。 ・手洗いスタンプを押し、手洗い場で手を洗う。 ・エプロンを脱いでしまう。	・自立活動（手指訓練）	・エプロン、三角巾 ・マスク ・手洗いスタンプ ・手洗いの歌
3 本時	食べたい味を決めよう。	・どんな味があるか知る。 ・全種類、一口食べてみて食べたい味を決める。	・自立活動（環境の把握、自己理解）	・デザートベース（イチゴ、ブルーベリー、ミックスオレンジ） ・スプーン・紙コップ
4	選んだ物を作る練習をしよう。	・エプロン・三角巾・マスクを付ける。 ・作り方の流れを確認する。 ・とろとろデザートを作る練習をする。	・生活（役割、手伝い・仕事） ・自立活動（手指訓練） ・国語（話す聞く）	・エプロン・三角巾 ・マスク ・紙コップ・スプーン ・米粉・食紅
5	とろとろデザートを作って食べよう。	・エプロンやマスクを正しく付けて、手洗いをする。 ・一人ずつ順番に材料をボウルに入れて混ぜる。 ・作ったものをみんなで食べる。 ・次の時間の見通しをもつ。	・生活（役割、手伝い、仕事） ・自立活動（手指訓練）	・エプロン・三角巾 ・マスク ・紙コップ・スプーン ・デザートベース ・牛乳・豆乳
6 7	作り方を知って、作る練習してみよう。	・流れを確認する。 ・作り方を確認する。 ・役割分担をする。（材料を入れる、混ぜる、電子レンジに入れる、ボタンを押す） ・蒸しケーキを作る練習をする。	・生活（役割、手伝い・仕事） ・自立活動（自己決定、手指訓練） ・国語（話す聞く）	・プレゼン ・米粉、水 ・紙コップ ・ボウル、スプーン ・泡立て器、おたま ・電子レンジ
8 9	蒸しケーキを作って食べよう。（プレーン）	・手洗いをし、エプロンやマスクを正しく付ける。 ・材料を順に入れて混ぜ、マフィンカップに流し入れる。電子レンジで加熱する。 ・作ったものを食べる。 ・次の時間の見通しをもつ。	・生活（役割、手伝い・仕事） ・自立活動（自己理解、手指訓練）	・エプロン、三角巾・マスク ・米粉・砂糖・水・サラダ油 ・ベーキングパウダー ・竹串・紙皿・ボウル ・マフィンカップ・スプーン ・キッチンペーパー ・計量カップ・電子レンジ
10	混ぜるジャムを決めよう。	・どんな味があるか知る。 ・全種類、一口食べてみて混ぜたい物を決める。	・自立活動（環境の把握、自己理解）	・ジャム（いちご、ブルーベリー、オレンジ） ・スプーン
11 12	好きな材料を混ぜて、蒸しケーキを作って食べよう。（アレンジ）	・手洗いをし、エプロンやマスクを正しく付ける。 ・好きな材料を混ぜて、蒸しケーキを作って食べる。 ・次の時間の見通しをもつ。	・生活（役割、手伝い・仕事） ・自立活動（自己理解、手指訓練）	・エプロン・三角巾・マスク ・米粉・砂糖・サラダ油・水 ・ベーキングパウダー ・マフィンカップ ・紙皿・ボウル・スプーン ・キッチンペーパー・竹串 ・計量カップ・電子レンジ ・ジャム（いちご、ブルーベリー、オレンジ）
13	活動をふり返ろう。	・活動の写真をしながら、頑張ったことを振り返る。	・目標やめあて（特別活動） ・話す、聞く（国語）	・プレゼン ・活動の写真

4. 単元中のこどもの姿（単元終了後に記入）

小学部3年 「作って食べよう」

単元の評価

- ・材料を混ぜたり、適当な量を入れたりすることができる。(知・技)
- ・繰り返し試食したり、作ったりすることを通して、作りたい物を考えることができる。(思・判・表)
- ・仲間と一緒に作ることを通して、役割を果たそうとすることができる。(主)

単元における児童生徒の実態と目標

作り方の理解・技能 (知・技)					
作りたい物を選択する (思・判・表)					
活動への意欲(主)					
本単元の目標	仲間と協力しながら、 役割を果たすことができる。(主)	食べたい味を教師と一緒に 選び、作ることができる。(思・判・表)	手順を示した写真を確認 して、一人で作業すること ができる。(知・技)	教師と一緒に、活動を楽し むことができる。(知・技)	丁寧に材料を入れたり、混 ぜたりすることができる。 (知・技)

小学部5年 生活単元学習 学習指導案

- 1 単元名 「いっしょにチャレンジ！なかよしミニ合宿」
2 単元について

本単元は、宿泊学習に向けての練習を行う中で、仲間の頑張りを見つけたりお互いに協力したりする場を設定することでかかわり合う活動を仕組む。また、自分の頑張りを仲間に伝える場を設定したり、教師が児童に仲間のよさを紹介したりすることでかかわりあうことを意識することができるようにする。

3 単元指導計画（別紙）

6 本時の展開

活動	活動内容	全体への支援		
1 あいさつ 2 活動内容や約束を確認	○写真を用いて、本時の活動内容を確認する。	- それぞれの布団を敷く場所に布団を用意しておき、見通しがもてるようにする。 - 本時の流れを写真で確認できるようにする。		
3 本時の活動	○前時の様子の動画を見て、本時の見通しをもつ。 ○自分のめあてを決める。 ○6人ずつ布団敷きの練習をする。 ○全員で布団を敷き、実際に寝てみる。 ○全員で片付けをする。	じぶんでふとんをしいてみよう。 - 前時の良いところを教師が価値付けることで、本時の活動に意欲をもつことができるようにする。 - イラストカードを使い、「シーツをピンとひく」「順番をまつ」から各自のめあてを選んで確認する。 - 教師と一緒に手順を確認し、布団敷きの仕方が分かるようにする。 - できたことはその都度価値付け、意欲をもって活動することができるようにする。	- 自分の決めためあてを声に出して発表し、意識できるようにする。 - 仲間を意識することができるように友達が行っているところを見るように声をかける。 - 布団の敷く場所を意識したり、活動の進み具合を周りに合わせたりできるよう、その都度、声をかける。	- T2が近くで声をかけ、本時ががんばることに見通しをもてるようにする。 - 写真カードを使って自分の順番を見せ、見通しをもって待つことができるようにする。 - 順番に布団を片付けるよう声掛けをし、できた時はその都度価値付ける。
4 活動の振り返り 5 あいさつ	○振り返りをする。	- 活動の様子の写真を見せながら具体的に価値付けを行うことで、どんなことを頑張ったかが明確になるようにする。 - カードに花丸を貼り、次回の意欲につなげる。	今日のめあてを確認して、「なにをがんばったかな。」と尋ねることで、自己評価ができるようにする。	

4 本時の目標 （9/18）

- ・布団を敷く手順を覚えて、布団を敷くことができる。

5 対象児童について

児童の実態		
単元の目標	仲間の様子を見たり、一緒に活動を楽しむことができる。	仲間と一緒に活動する中で、順番を待ったり仲間に譲ったりすることができる。
本時の目標	仲間の頑張りに気付いたり、仲間を見ながら布団を敷く場所を考えたりすることができる。（思・判・表）	仲間の動きを見ながら順番を待ったりタイミングを合わせたりして活動することができる。（思・判・表）

小学部5年 「いっしょにチャレンジ! なかよしミニ合宿」 単元指導計画 (全18時間)

1. 単元の評価

- ・正しい手順で、布団のじゅんぴや片付け、体を洗うことができる。(知・技)
- ・自分の役割を果たしたり自分なりに仲間と協力したりして活動することができる。(思・判・表)
- ・自分で洗ったり準備したりすることを楽しみながら、学級の仲間とともに、活動に参加することができる。(主)

2. 単元にかかわる個別学習

国語	文字のマッチング (プログラムづくり) 話すこと (会の役割)
算数	数字並べ (掃除の順番)
自立活動	手指訓練 (プログラム作り) 身辺自立 (体洗い、布団敷き)

3. 指導計画

時	課題	活動内容	各教科・領域とのかかわり	準備など
1	どんなことを知るのか知ろう。	・プレゼンテーションを見る。 ・合宿の歌を歌う。	・聞くこと (国語)	・プレゼン ・CD ・歌詞カード
2	自分の寝る部屋を確認しよう。	・プレゼンテーションで部屋割りを確認する。 ・宿泊棟で部屋を確認する。	・聞くこと (国語)	・プレゼン ・部屋割り表
3	体の洗い方を知ろう。	・イラストを見て、体を洗う手順を確かめる。 ・タオルを使って体を洗う練習をする。	・体に関すること (性教育) ・体の動き (自立)	・細長い体を洗うタオル ・イラスト等
4	レクリエーションを決めよう。	・もぐらたたき、箱車、的当て、バランスボール、玉入れ、トランポリン、ダンスからやりたい遊びを選ぶ。 ・実際に遊びをやってみる。	・聞くこと (国語) ・話すこと (国語)	・遊びのイラスト
5	洗う練習をしよう。	・プレゼンテーションを見て手順を確認する。 ・シャワー→頭→体→仕上げシャワー→タオルで拭く練習をする。	・体に関すること (性教育) ・体の動き (自立)	・桶 ・イス ・タオル
6	お風呂に入る手順を覚えよう。	・プレゼンテーションを見て、お風呂に入る手順を確認する。 ・脱衣から入浴までの手順を練習する。	・体に関すること (性教育) ・身辺自立 (自立活動)	・桶 ・イス ・合宿バック
7	自分で洗ってみよう。	・宿泊棟で実際に、お風呂に入る手順を確認する。 ・脱衣から入浴、着衣までの手順をやってみる。	・体に関すること (性教育) ・身辺自立 (自立活動)	・桶 ・イス ・合宿バック
8	布団を敷く練習をしよう。	・布団の敷き方を確認する。 ・布団を使って布団敷きの練習をする。 ・布団のたたみ方を確認する。 ・布団たたみの練習をする。	・身辺自立 (自立活動)	・合宿バック ・布団 ・敷きパッドなど
9 本時	自分で布団を敷いてみよう。	・布団敷きの練習をする。 ・布団たたみの練習をする。	・身辺自立 (自立活動)	・合宿バック ・布団 ・敷きパッドなど
10	宿泊棟での約束知ろう。	・プレゼンテーションを見て、宿泊棟での約束を確認する。 ・宿泊棟に行き、実際の動きを確かめる。	・聞くこと (国語) ・話すこと (国語)	・プレゼン (約束) ・合宿バック
11	当日の役割を決めよう。	・始めの会と終わりの会の流れを知り、どのような役割があるか確認する。 ・やりたい役割を決める。 ・役割の練習をする。	・話すこと (国語) ・コミュニケーション (自立活動)	・レクで使用する道具
12	プログラムを作ろう。	・始めの会と終わりの会のプログラムでながれを確認する。 ・始めの会と終わりの会のプログラムを飾り付ける。	・手指訓練 (自立活動)	・顔写真カード ・プログラム ・色紙
13	1日の流れを確かめよう。	・プレゼンテーションで一日の流れを確認する。 ・始めの会と終わりの会の練習をする。	・話すこと (国語) ・聞くこと (国語) ・コミュニケーション (自立活動)	・プレゼンテーション ・プログラム
14	1日の流れをやってみよう。	・プレゼンテーションで一日の流れを確認する。 ・一日の流れを通してやってみる。	・聞くこと (国語)	・プログラム
15 16 17	なかよしミニ合宿をしよう。	・始めの会をする。 ・宿泊棟に移動し、部屋に荷物を置く。 ・入浴をする。 ・布団を敷いて、就寝をする。 ・終わりの会をする。	・話すこと (国語) ・聞くこと (国語) ・コミュニケーション (自立活動)	・プログラム ・合宿バック ・桶 ・風呂用いす ・布団 ・敷きパッドなど
18	活動の振り返りをしよう。	・写真を見て、合宿の様子を振り返る。 ・がんばったことを発表する。	・話すこと (国語) ・聞くこと (国語)	・合宿の様子の写真 ・プレゼンテーション

4. 単元中のこどもの姿 (単元終了後に記入)

小学部5年「いっしょにチャレンジ！なかよしミニ合宿」

単元の評価

- ・正しい手順で、布団のじゅんぴや片付け、体を洗うことができる。(知・技)
- ・自分の役割を果たしたり自分なりに仲間と協力したりして活動することができる。(思・判・表)
- ・自分で洗ったり準備したりすることを楽しみながら、学級の仲間とともに、活動に参加することができる。(主)

単元における児童生徒の実態と目標

身辺自立 (知・技)						
状況判断 (思・判・表)						
仲間とのかかわり (主)						
本単元の目標	仲間の様子を見たり、一緒に活動を楽しんだりすることができる。(思・判・表)	仲間と一緒に活動する中で、順番を待ったり仲間に譲ったりすることができる。(主)	仲間に関心をもって、仲間の様子を見ること ができる。(主)	自分の役割や順番の時に気付いて、行動 することができる。 (思・判・表)	活動を最後までやり きることができる。 (知・技)	身の回りのことを丁寧 にやりきることが できる。(知・技)

4 本時の目標 (15/25)

自分の買うものを選び、金額に応じて支払うことができる。

5 対象生徒について

1 単元名 「修学旅行に行こう～スキルアップ学習～」

2 単元について

本単元では、修学旅行に向け、乗りもの・入浴・買いものなど「一人でできることを増やすためのスキルアップ学習」として学習を進めていく。そのなかで買いもの学習では、7月に行った施設見学、（注）での買いものを終え、更なるスキルアップを目指し、硬貨から紙幣の買いものへとレベルアップした体験学習を仕組んでいく。さらに、「ただしく支払う」「目をみてあいさつ」「自分でさがす」の3つのめあてのもと、自分で目標を決め、意識しながら取り組めるように「めあて決め→買いもの体験学習→振り返り」の流れのもと、「できた」が実感できる学習過程を仕組んでいく。

生徒の実態		
単元の目標	ヒントカードをもとに必要なものを探したり、困った時には、「〇〇はどこですか。」と尋ねたりすることができる。	金額に合わせて、必要な数だけ紙幣や硬貨を支払うことができる。
本時の目標	買いものや場所が載ったヒントカードを使ったり、「教えてください。」と書いてあるヘルプカードを使って人に尋ねたりしながら、必要なものを探し出すことができる。（照・判・表）	合計金額に合わせて、千円札や五百円玉のどちらかを選択して、支払うことができる。（知・技）

3 単元指導計画（別紙）

6 本時の展開

活動	活動内容	全体への支援		
1 あいさつ 2 活動内容やめあての確認	○前時の振り返りと本時取り組む練習内容を確認する。 ○個人のめあてを決める。	・買いもののやり方を示したスライドを見せながら、「商品を探す→レジに行く→お金を払う」といった流れの見通しがもてるようにする。 ・「ただしく支払う」「目をみてあいさつ」「自分でさがす」の3つのめあてを提示し、自分が頑張りたいめあての下に顔写真を貼っていくことで、自分や仲間が何を頑張るかが分かるようにする。 買いものに行く練習をしよう。	・前時学習したスライドを振り返る際、買いものの行き場所や日時を時折質問し、理解しているかを確認しながら学習を進めていく。	
3 本時の活動	○一人ずつ買いものの練習をする。 ○活動の様子を見ながら、良かったところを確認する。	・教室を前と後ろで区切り、前をお店、後ろを振り返り場所とすることで買うスペースと振り返りをするスペースを区別できるようにする。 ・教員からや児童同士で即時評価する時間を設けることで、仲間の良いところに目を向けたり、真似たりすることができるようにする。 ・買いものをする自分や仲間の姿を写真で見ることで、自分の姿を振り返り、めあてが意識できていることを実感できるようにする。	・買う商品や置いてある場所が載ったヒントカードを用意する。 ・困った時には、「教えてください。」の言葉が載ったヘルプカードを使って、自分から店員さんに尋ねるよう、促す。	・紙幣か硬貨を選択できるよう、財布には千円札と五百円玉を入れておく。 ・合計金額が視覚的に捉えられるよう、お金メモに書いて提示する。
4 活動の振り返り 5 あいさつ	○全体の振り返りをする。 ○次回の学習への見通しをもつ。	・全員のめあてが意識できている姿を写真で振り返り、「全員で達成できたこと」が実感できるようにする。 ・次回、学年で買いものの練習することを伝えることで見通しや意欲がもてるようにする。	・写真を見ながら活動を振り返り、評価することで「できた」が実感でき、自信をもって次時へと進めるようにする。	・次回はさらにレベルアップした活動を行うことを伝えることで意欲が高まるようにする。

中学部 3 年 「修学旅行に行こう！～スキルアップ学習～」 単元指導計画 （全 25 時間）

1. 単元の評価

- ・日常生活で必要となる身の回りの道具の使い方とそれらを使用した体の動かし方や、集団生活や社会のルールを理解し、実践することができる。(知・技)
- ・自分で考えて活動したり、仲間と協力して活動したりすることができる。(思・判・表)
- ・修学旅行を楽しみにしながら、衣食住にかかわる動きの習得や、その中での人とのかかわりに向けて、前向きに活動に取り組むことができる。(主)

2. 単元にかかわる個別学習

国語	聞くこと・話すこと（遊園地や宿泊施設でのスタッフの方とのやり取り） 書くこと・読むこと（目標決めや振り返り、お手伝い依頼書）
数学	数と計算（買い物学習）
自立活動	社会参加ときまり（遊園地での乗り物乗車や、宿泊施設での食事・入浴などにかかわるマナー） 人間関係の形成（自己の理解と行動の調整・集団への参加の基礎）

3. 指導計画

時	課題	活動内容	各教科・領域とのかかわり	準備など
1	「修学旅行に行こう！」で何をするか知ろう。	・プレゼンを見て、学習の見通しをもつ。 ・個人の目標を決める。	・聞くこと・話すこと ・書くこと・読むこと （国語）	・オリ PP
2	顔・頭・体の洗い方を思い出そう。	・顔の洗い方を思い出し、実際にやってみる。 ・体や頭の洗い方を動画を見て確認し、タオルを使って体を洗う練習をする。	・基本的生活習慣（生活）	・洗顔入浴 PP ・タオル 1 枚（体洗い＋洗顔用）
3	係を決めよう。	・修学旅行での係の分担をする。	・社会参加ときまり（社会）	・オリ PP
4 5	雨具の使い方を練習しよう。	・傘のさし方、閉じ方、しまい方の注意点を知り、練習する。 ・傘をさして雨の中を歩く練習をする。	・基本的生活習慣（生活）	・PP ・傘 ・合羽
6	アップルパイの作り方を知ろう。	・アップルパイの作り方についてのプレゼンを見る。 ・アップルパイづくりに必要な材料を知る。	・聞くこと・話すこと （国語） ・衣食住の生活 （職業・家庭）	・PP ・調理用エプロン ・三角巾
7	アップルパイを作る練習をしよう。	・PP を見てアップルパイの作り方（工程）について復習・確認する。 ・粘土とビーズを使って、アップルパイづくりの練習を行う。 ・アップルパイを作る順番を守り、待つ練習をする。	・聞くこと・話すこと （国語） ・数と計算（数学） ・衣食住の生活 （職業・家庭）	・PP ・作業用エプロン ・粘土 ・ビーズ ・プラスチックのフォーク
8 9	ピーチパイを作ろう。	・PP を見て、ピーチパイの作り方を確認する。 ・前日のシミュレーションを思い出しながら、ピーチパイを作る。 ・焼くのを待つ間に、机を拭いて食べる準備をする。調理機の片付けをする。 ・みんなで楽しく会食する。	・聞くこと・話すこと （国語） ・数と計算（数学） ・衣食住の生活 （職業・家庭）	・PP ・ピーチパイの材料（パイシート、桃の缶詰） ・紙皿、紙コップ ・調理器具（フォーク、オープン、天板） ・調理用エプロン ・三角巾
10	遊園地で乗り物に乗る練習をしよう。	・列に並んで順番を待ったり、スタッフの方に乗り物券を渡したりするといった、遊園地で遊ぶ際のルールや約束について知る。	・余暇の過ごし方（家庭） ・社会参加ときまり（社会）	・PP ・バス用ベルト
11	ルールを守って乗り物に乗ろう。	・前時に学習したことを活かして、遊園地での乗り物の乗り方についての実践練習を行う。	・余暇の過ごし方（家庭） ・社会参加ときまり（社会）	・足蹴りカーなど

12	「買い物しよう。」 の学習の流れを知ろう。	・買い物学習のねらいや学習の流れの見通しをもつ。 ・買う材料を知る。	・聞くこと・話すこと (国語) ・書くこと(国語)	・PP
13 14	で茶を買おう。	・スクールバスで に行き、修学旅行に持っていくお茶(水)を買う。 ・いくつかの商品の中から自分が買う物、買いたい物を選び取る。 ・レジでお金を支払い、お釣りとレシートを受け取る。	・金銭の扱い(生活) ・身近な消費生活 (職業・家庭) ・公共施設と制度(社会)	・PP ・お金 ・財布 ・エコバッグ ・ヒントカード ・お金メモ
15 本時	に買い物に行く練習をしよう。 (各クラスで)	・いくつかの商品の中から自分が買う物、買いたい物を選び取る。 ・千円札を使って、手順通りに買い物練習をする。	・書くこと・読むこと (国語) ・金銭の扱い(生活) ・身近な消費生活 (職業・家庭) ・公共施設と制度(社会)	・PP ・商品模型 ・お金・財布 ・買い物かご ・レジ ・エコバッグ ・ヒントカード ・お手伝い依頼書 ・お金メモ
16 17	買い物の練習をしよう。(学年で)	・いくつかの商品の中から自分が買う物、買いたい物を選び取る。 ・千円札を使って、手順通りに買い物練習をする。	・書くこと・読むこと (国語) ・金銭の扱い(生活) ・身近な消費生活 (職業・家庭) ・公共施設と制度(社会)	・PP ・商品模型 ・お金・財布 ・買い物かご ・エコバッグ ・ヒントカード ・お手伝い依頼書
18	係会をしよう。	・係の分担ごとに分かれて、仕事の内容の説明を聞き、練習をする。	・社会参加ときまり(社会)	・係に必要な物
19 20	で好きな商品を買おう。	・ に行き、いくつかの商品の中から自分が買う物、買いたい物を選び取る。 ・店内での約束を守って行動する。 ・仲間と一緒に行動する。	・書くこと・読むこと (国語) ・金銭の扱い(生活) ・身近な消費生活 (職業・家庭) ・公共施設と制度(社会)	・お金・財布 ・エコバッグ ・ヒントカード ・お手伝い依頼書
21	で買った商品を見せ合おう。	・買った商品を見せて、選んだ理由を伝える。 ・仲間の買った商品を見て、選んだ理由を聞く。 ・感想を話す。	・聞くこと・話すこと (国語)	・PP ・買った商品
22 23	お土産を買う練習をしよう。(学年で)	・お土産が並んでいる中から自分が買う物、買いたい物を選び取る。 ・三千円を使って、手順通りに買い物練習をする。(1回目:恵那峡、2回目:ホテル)	・書くこと・読むこと (国語) ・金銭の扱い(生活) ・身近な消費生活 (職業・家庭) ・公共施設と制度(社会)	・お金・財布 ・エコバッグ ・ヒントカード ・お金メモ ・お手伝い依頼書 ・商品模型 ・買い物かご ・レジ
24	荷物の出し入れの練習をしよう。	・自分の荷物の中身を確認し、必要な物がすぐ取り出せるように練習する。	・衣食住の生活(家庭)	・修学旅行 PP ・旅行かばん ・内容物別の小袋
10月17日(木)～18日(金) 修学旅行当日				
25	修学旅行の振り返りをしよう。	・修学旅行を写真で振り返り、頑張ったことや楽しかったことを発表する。 ・スキルアップ学習で身に付けた力と宿泊研修での活動を関連付けて、これまでの練習での頑張りを価値づける。	・よりよい学校生活(道徳) ・社会参加ときまり(社会) ・書くこと(国語)	・写真 ・個人の振り返り 用紙

4. 単元中のこどもの姿(単元終了後に記入)

中学部3年「修学旅行に行こう～スキルアップ学習～」

単元の評価

- ・日常生活で必要となる身の回りの道具の使い方とそれらを使用した体の動かし方や、集団生活や社会のルールを理解し、実践することができる。(知・技)
- ・自分で考えて活動したり、仲間と協力して活動したりすることができる。(思・判・表)
- ・修学旅行を楽しみにしながら、衣食住にかかわる動きの習得や、その中での人とのかかわりに向けて、前向きに活動に取り組むことができる。(主)

単元における生徒の実態と目標

お金の支払いにかかわる 理解（知・技）					
自分の欲しい物を選んだり、頼まれた物を探したりする（思・判・表）					
買い物学習に向かう意欲（主）					
単元の目標	ヒントカードをもとに必要なものを探したり、困った時には、「〇〇はどこですか。」と尋ねたりすることができる。（思・判・表）	金額に合わせて、必要な数だけ紙幣や硬貨を支払うことができる。（知・技）	買う物や置いてある場所が載ったヒントカードを活用しながら、頼まれた物を正確に購入することができる。（思・判・表）	やるべきことを、最後までやり切ることができる。（主）	金額に合わせて、紙幣か硬貨のどちらが必要かを選択して、支払うことができる。（知・技）

1 単元名 「就業体験に向けて」—新たな気持ちでチャレンジ—

2 単元について

就業体験は高等部において特に3年生では、就労と直結する重要な活動である。日頃から大切にしている挨拶やマナーをはじめ、言葉遣いや服装、時間行動など社会人として自立していくために必要な力を身に付け、発揮していく場でもある。2年生では、初めて校外に出かけ、事業所で働くという体験を行った。短い期間ではあったが、働くことの厳しさについて実感することができた。

本単元では、就業体験のねらいや活動の意義を再度確認するとともに、前回行った就業体験での反省をもとに、課題やめあてをはっきりさせ、2回目の就業体験への心構えをつくり、実践に向けて方向付けることを目指している。そこで、本時では、1回目の就業体験での反省を踏まえ、自らが決めた課題やめあてを伝えるためのポイントを意識して発表の練習に取り組むことで、就業体験に向けての意気込みを高めたい。

6 本時の展開

活動	活動内容	全体への支援		
1 あいさつ 2 導入	○あいさつをする。 ○前時の学習を振り返る。	・1回目の就業体験の姿や評価を振り返り、2回目の就業体験のめあてを再確認する。	・1回目就業体験の自己評価について、再確認する。	・事業所からの評価と自己評価とを比べ、特に改善したい事柄について再確認する。
3 活動内容 やめあて の確認	○本時の活動内容を確認する。 ○めあてを伝えるためのポイントを選ぶ。	自分のめあてが相手に伝わるように発表の練習をしよう ・①忘れずに礼をする、②声の大きさ、③話す速さ、④発表する時の視線を提示し、その中から特に自分が意識して取り組むポイントを選択し、ネームプレートに貼る。	・めあてを伝えるためのポイントを4つの視点から選択して取り組むことができるように一緒に考える。	・「挨拶や返事」、「はきはきした言葉遣い」について、努力する必要があることを確認し、声の大きさについてめあてがもてるようにする。
4 本時の活動	○礼の仕方について正しい礼の仕方を知る。 ○自分の礼の仕方と見比べてできているところや不十分など確認する。 ○伝えるためのポイントを意識して発表の練習を行う。 ○実演発表をする。	・マナー講座の礼の仕方についての資料を用意し、正しい礼の仕方について動画で確認する。 ・前時に発表の様子について動画で撮影したものを用意し、礼の仕方をはじめ、伝えるためのポイントで選んだ内容について練習の視点を確認し示す。 ・伝えるためのポイントを改善できるようにそれぞれが練習する。 ・場合によっては、ペアで練習してみる。 ・実際に順番にやってみる。お互いに発表の姿を見合う。	・タイミングよく礼ができるように、見本を示す。 ・発表する立ち位置にきたら礼ができるように、立ち位置を決めておき、タイミングがつかめるようにする。	・見本を見て、腰を曲げてできるように、胸と背中に手を当てて礼をするように促す。 ・タブレットによる録音を補助する。また、録音を聞いて自分の伸びや変容を確認できるように促す。
5 活動の振り返り	○本時の活動を振り返る。	・ネームプレートに貼ったポイントに沿って発表したり、教師と振り返ったりする。	・礼のタイミングについて忘れずにできたことについて価値付ける。	・声の大きさについて、タブレットで録音しながら繰り返し練習できたことについて価値付ける。
6 あいさつ	○次時の学習内容をつかむ。	・次時の活動内容や活動場所を伝え、学習の課題解決の見通しをもつ。		

3 単元指導計画（別紙）

4 本時の目標（8/15）

就業体験の出発式に向けて、就業体験のめあてが相手に伝わるように、発表のポイントを意識しながら発表練習を行うことができる。

5 対象生徒について

生徒の実態		
単元の目標	働く上で必要なことについて日常生活とつなげて理解することで、就労に対する興味関心をもつことができる。	働く上で自分に必要なことを理解して、日常生活の中で意識しながら取り組もうとしている。
本時の目標	はじめと終わりの礼を忘れずに行うタイミングをつかむことができる。（知・技）	マイクに拾えるくらいの声の大きさを目指し、繰り返し練習を行おうとしている。（主）

生活単元学習 単元指導計画

単元名	総時間数	学部・学年・コース
「就業体験に向けて」	15	高等部 2年 普通コース

単元の評価	・ 普段の学習を振り返り、就業体験に向けて働くために必要なことを知ることができる。(知・技) ・ 報告会で頑張ったことを振り返ったり、次の目標について考えを伝えたりすることができる。(思・判・表) ・ 働くことに対して興味関心を持ち、活動に意欲的に取り組もうとしている。(主)
-------	--

各教科・領域とのかかわり

職業	自己を見つめ振り返る活動、あいさつやマナー
国語	めあてや振り返りの記入、発表、手紙書き
自立活動	他者とのかかわり

時	課題	活動内容	各教科・領域とのかかわり	準備など
1	就業体験に向けて、準備や活動についての見通しをもとう。	・ 就業体験の流れを知る。 ・ 単元目標をつかみ、準備や活動の見通しをもつ。	単元の流れの理解(国語)	・ P P
2 3	就業体験に向けて、課題やめあてをはっきりさせよう。	・ 評価票やキャリアパスポートをもとに前回実習を振り返る。 ・ 学校生活や作業学習について振り返り、実習での課題を明確にし、カードに記録する。 ・ 保護者の願い、担任のアドバイスを受け、自己を見つめる。	作業ノートの確認(職業) めあて記入(国語)	・ 「保護者のねがい」のプリント(事前配布) ・ 就業体験記録カード ・ 作業ノート
4 5	実習先での打ち合わせの流れを知り、練習しよう。	・ あいさつの仕方が分かる。 ・ 打ち合わせる内容を確認する。 ・ 模擬打ち合わせて練習する。	あいさつの仕方(自立活動) 話し方(国語)	・ 進め方(あいさつ)プリント ・ 打ち合わせ用紙 ・ マナーについて P P
6 7	掲示物や出発式用資料を作成しよう。	・ 廊下掲示や出発式用原稿を作成する。 ※ 掲示物は1階廊下に掲示する。	原稿作成(国語)	・ 掲示用用紙 ・ 原稿記入用紙
8 本時 9	自分のめあてが相手に伝わるように発表の練習をしよう。	・ 正しい礼の仕方を知る。 ・ 伝えるためのポイントを意識して発表の練習を行う。 ・ 出発式のリハーサルを行う。	発表練習(国語) 声の大きさ確認(自立活動)	・ 発表原稿

就業体験

10	就業体験の成果や課題を振り返ろう。	・ 就業体験記録カードをもとに成果と課題を書き出し、まとめる。 ・ 実習先の方や先生からの評価を確認する。	記録カードの読み(国語) 作業のアドバイスなどの確認(職業)	・ 就業体験記録カード ・ 巡回メモ
11	掲示物や報告会用資料を作成しよう。	・ 廊下掲示や報告会用原稿を作成する。 ※ 掲示物は1階廊下に掲示する。	原稿作成(国語)	・ 就業体験記録カード ・ 評価票 ・ 振り返りプリント
12 13	自分の成果やこれからの目標が相手に伝わるように発表の練習をしよう。	・ 伝えるためのポイントを意識して発表の練習を行う。 ・ 報告会のリハーサルを行う。	発表練習(国語) 声の大きさ確認(自立活動)	・ 発表原稿
14 15	就業体験のお礼の気持ちを手紙に書こう。	・ 手紙の書き方を確かめる。 ・ 就業体験の振り返りをもとにお礼の手紙を書く。 ・ 丁寧に書く。	手紙の書き方(国語)	・ 就業体験記録カード ・ 振り返りプリント ・ 便箋 ・ 手紙の書き方見本

単元中の生徒の姿

(単元終了後に記入)

高等部2年普通コース 「 就業体験に向けて 」

単元の評価

- ・ 普段の学習を振り返り、就業体験に向けて働くために必要なことを知ることができる。(知・技)
- ・ 報告会で頑張ったことを振り返ったり、次の目標について考えを伝えたりすることができる。(思・判・表)
- ・ 働くことに対して興味関心をもち、活動に意欲的に取り組もうとしている。(主)

単元における児童生徒の実態と目標

1回目の就業体験 での事業所からの 評価						
1回目の就業体験 の成果と課題						
2回目の就業体験 に向けての保護者 の願い						
単元の目標	働く上で必要なこと について日常生活と つなげて理解するこ とで、就労に対する興 味関心をもちることが できる。(知・技)	働く上で自分に必要 なことを理解して、日 常生活の中で意識し ながら取り組もうと している。(主)	日常生活での「できる こと」を増やし、就労 に対する興味関心を 高めていくことがで きる。(主)	日常生活の中の取組 が就労に直結すると 考え、様々な活動の成 果と課題をもとに目 標を考えることがで きる。(思・判・表)	日常生活の中の取組 が就労に直結すると 考え、様々な活動の成 果と課題をもとに目 標を考えることがで きる。(思・判・表)	就労に対する興味関 心をもち、日常生活 の中でのマナーなど を意識して生活しよ うとしている。(主)

1 単元名 「余暇を楽しもう」

2 単元について

休日の過ごし方には、趣味や活動にあてられる余暇と、体を休めるための余暇があり、心身の健康のためには両立させることが大切だと既習している。事前アンケートによると、生徒たちはすでに自分の体を休めるための手段と経験があり、余暇を活用する生徒が多い。だが、環境の変化やお金を得られるようになることから、「卒業後は休みの過ごし方が変わると思う。」と考えている。

本単元では、仲間と過ごす余暇の計画を立てるなかで、予算や時間配分など計画を立てるために必要な情報を収集・整理しながら余暇計画を立案し、実践化に向けて意欲化を図る。

3 単元指導計画（別紙）

6 本時の展開

活動	活動内容	全体への支援		
1 あいさつ 2 導入	○前時までの学習内容を確認する。 ○自分のめあてを決める。	調べたことをもとに、余暇計画を立てよう。 ・「自分から」「情報をもとに」「仲間の意見と比べながら」から課題解決に向けた個人のめあてを選ぶ。	・前時までのワークシートの振り返りから、本人の頑張りを認め、前向きに個人のめあてを決められるよう促す。	
3 本時の活動	○食事について、前時の情報から、AとBどちらにするか、自分の意見を書く。(個) ○なぜそれにしたのか、意見を交流する。(全体) ○決定した内容を具体的に計画に取り入れる。(全体) ○食後の余暇として、何をするのか、前時に出た活動の候補から優先順位を決める。(個) ○自分の考えた優先順位を全体で交流し、学級でまとめる。(全体)	・食事について、前時までに出的情報を確認する。その情報をもとに、AかBを選び、理由を書けるようなワークシートを用意する。 食事 A：市役所食堂 どんなメニューがあるか 値段、注文の仕方 B：その他の店舗 そこまでどう行くか 値段、注文の仕方 ・何時に市役所を出発すればよいのか、食事の時間はどのくらいとれるのか、どの道を通っていくのかなど、時計や地図を見ながら生徒とやりとりを通して確認する。 ・前時に出た活動の候補を提示する。 前時の時点で、生徒から出ると思われる活動 ・リス村に行く ・ロープウェイに乗る ・団子を食べる ・金華山に登る ・買い物をする ・歴史博物館に行く ・岐阜城を見る ・机を向かい合わせにしたり、必要なときは教師が生徒同士の会話をつなげたりするなど、発言しやすい環境に整える。	・本人がつぶやいた言葉を情報とつなげ、理由としてワークシートに書けるように促す。 ・意見の発表がしやすいように、机間指導の際、理由の記述内容に赤線を引いておく。 ・本人が発言したあと、「～だからそういう意見になったんだね」など、本人が発言してよかったと安心できるような声かけをする。	・現実的ではない計画を考えた場合、黒板に提示された予算や時間などの条件を再確認するように促す。 ・3000円 ・11:00～15:00 ・21名 ・活動できる（移動、食事を抜いた）時間を黒板に書いて可視化し、時間の見通しを具体的にイメージしやすくする。
4 活動の振り返り	○個人のめあてを振り返る。	・めあてについて、教師から価値付ける前に、自分から振り返るよう促す。そのときに、どんな姿からそう感じたのか話すようにする。	・情報をもとにして、理由を考えたり、自分の意見をもったりした姿を価値付ける。	・計画の立案に向けて意識したことを話すよう促すとともに、条件に合わせて考えた姿を価値付ける。
5 あいさつ	○学習の振り返り	・余暇計画を立てるにあたって、予算や時間配分などを考えたり情報を集めたりすることが必要だとおさえる。		

4 本時の目標 （4/7）

・仲間と意見交流しながら予算や時間配分など必要な情報をまとめたり整理したりして、余暇計画を考えることができる。

5 対象生徒について

生徒の実態		
単元の目標	情報を入手・取捨選択し、計画を考えることができる。	状況に合わせた余暇計画を考えることができる。
本時の目標	余暇の計画について、情報を活用し、自分の意見を仲間に伝えることができる。(思・判・表)	条件に合わせた、実現可能な余暇計画を考えることができる。(思・判・表)

生活単元学習 単元指導計画

単元名	総時間数	学部・学年・コース
余暇を楽しもう	7	高等部 3年 工業コース

単元の評価	・余暇を過ごすために必要な情報を調べたり、予算の使い方や時間配分などを整理したりすることができる。(知・技) ・余暇計画を立てるために、予算や移動の仕方、時間配分、何ができるのかなど、調べた内容をもとに具体的な計画を考えることができる。(思・判・表) ・仲間との交流の中で出てきた意見や考え方を、今後の自分に関わりがあることと捉え、よりよい余暇の過ごし方に生かそうとしている。(主)
-------	---

各教科・領域とのかかわり

国語	内容理解、話合いの仕方、発表の力
数学	時間の読み取り、お金の計算、時間の使い方
自立活動	他者の理解、状況の理解と変化の適切な対応、自己の理解、他者とのかかわり

時	課題	活動内容	各教科・領域とのかかわり	準備など
1	余暇の大切さを知り、単元の見通しをもとう。	・前の単元で学んだ、余暇の大切さや効果について再度確認する。 ・本単元の流れを知り、活動の見通しをもつ。	内容理解（国語）	・PP ・ワークシート
2	自分や仲間が楽しめる午後の過ごし方を考えよう。	・提示された行き先から、自分がよいと思うものを選び取る。 ・なぜそのコースがよいのか、自分の立場や根拠を明らかにする。	内容理解（国語） お金の計算、時間の使い方（数学）	・ワークシート ・地図 ・過ごし方に関する資料（写真・パンフレットなど）
3	意見をもち寄って、行き先を決めよう。	・自分が選んだ行き先を、根拠をもとに仲間に伝えることができる。 ・複数ある意見を1つにまとめて、余暇計画を立てることができる。	話合いの仕方（国語） 時間の読み取り（数学） 他者の理解（自立活動）	・ワークシート ・地図 ・タブレット ・行先に関する資料（写真・パンフレットなど）
4 本時	調べたことをもとに、余暇計画を立てよう。	・必要な情報を集めたり、まとめたりして、余暇計画を立てることができる。	話合いの仕方（国語） 時間の読み取り、お金の使い方（数学） 他者の理解（自立活動）	・ワークシート ・地図
5	学級で決めた計画を提案したり、各学級の計画を聞いたりして、余暇の過ごし方を決めよう。	・自分たちの考えた計画について、根拠をもとに発表することができる。 ・他学級の提案を聞いて、余暇の過ごし方についてのイメージを広げることができる。	話合いの仕方（国語） 他者の理解（自立活動）	・ワークシート（↑発表用原稿としての役割も含む） ・投票用紙 ・選挙箱
6	自分たちで考えた計画をもとに、余暇を楽しもう。	・決めた計画に沿って、仲間とともに余暇の時間を楽しみおことができる。	状況の理解と変化への対応（自立活動）、お金の計算（数学）、時間の使い方（自立活動）	・現金（3,000円） ・計画表 ・インタビュー用紙（生徒の意見を聞き取るためのもの） ・カメラ
7	これからの自分の余暇の過ごし方を考えよう。	・余暇の計画、実施を通して、学んだことやこれから自分の余暇の過ごし方に生かしていけるようなことを振り返り、仲間と共有することができる。	他者の理解、自己の理解（自立活動）	・ワークシート ・余暇を過ごしている様子の写真 ・生徒の当日の感想

単元中の生徒の姿

（単元終了後に記入）

高等部3年工業コース 「 余暇を楽しもう 」

単元の評価

- ・余暇を過ごすために必要な情報を調べたり、予算の使い方や時間配分などを整理したりすることができる。(知・技)
- ・余暇計画を立てるために、予算や移動の仕方、時間配分、何ができるのかなど、調べた内容をもとに具体的な計画を考えることができる。(思・判・表)
- ・仲間との交流の中で出てきた意見や考え方を、今後の自分に関わりがあることと捉え、よりよい余暇の過ごし方に生かそうとしている。(主)

単元における生徒の実態と目標

情報収集、情報整理 (知・技)							
調べた内容をもとに、計画を考える。(思・判・表)							
他者の意見を自分に関わりのあることとして考えることができる (主)							
単元の目標	情報を入手・取捨選択し、計画を考えることができる。(思・判・表)	状況に合わせた余暇計画を考えることができる。(思・判・表)	余暇について、仲間の意見を聞き、余暇の過ごし方のイメージを広げることができる。(主)	調べた情報をもとに、理由をつけて、適切な計画を立てることができる。(思・判・表)	自分と仲間の意見を比べながら、余暇の過ごし方のイメージを広げることができる。(主)	目的に合わせた情報を集めたり、整理したりする方法を知ることができる。(知・技)	目的に合わせた情報を集めたり、情報を整理したりすることができる。(知・技)